

新たな商工業振興基本計画の構成(章立て)(たたき台)

第1章 計画策定の趣旨

<現行>

- 1 計画策定の目的
本県産業の復興のため、取り組む方向性を示すとともに、本県産業界、研究・教育機関、行政(市町村等)の活動及び事業実施の参考指針となるもの。
東日本大震災及び原子力災害など、社会情勢の大きな変化を受けて現行計画を見直す。
- 2 計画策定の性格
・福島県総合計画の商工労働及び観光に関する部門別計画
・中小企業・小規模企業振興基本条例第9条に基づく基本計画
- 3 計画の期間
・H25～R2(8年計画)
・必要に応じて見直しを行うなど弾力的な運用
- 4 計画の見直し
見直しの経過を説明

<次期計画>

- 1 計画策定の目的
本県産業の復興・創生、振興のため、取り組む方向性を示すとともに、本県産業界、研究・教育機関、行政(市町村等)の活動及び事業実施の参考指針となるもの。
- 2 計画策定の性格
・福島県総合計画の商工労働及び観光に関する部門別計画
・中小企業・小規模企業振興基本条例第9条に基づく基本計画
・**工業開発計画を統合**
- 3 計画の期間
・**R4～12(9年計画)(新総合計画と整合性を図る)**
・必要に応じて見直しを行うなど弾力的な運用
※中間見直しを行うかについては今後検討(新総合計画と整合性を図る)

第2章 本県産業を取り巻く社会経済情勢の変化

<現行>

- 1 東日本大震災及び原子力災害の発生
- 2 人口減少・少子高齢社会の急激な進行
- 3 資源・エネルギー確保への課題
- 4 産業・就業を取り巻く環境の変化
- 5 様々な産業分野におけるイノベーションの加速化
- 6 高度情報化社会の進展
- 7 労働環境の変化
- 8 商業環境の変化
- 9 グローバル化の進展
- 10 観光・交流を取り巻く環境の変化

<次期計画>

- 1 東日本大震災及び原子力災害からの**復興**
- 2 **(新)福島イノベーション・コースト構想の推進**
- 3 **(新)新たなリスクの発生(令和元年東日本台風の発生や新型コロナウイルス感染症の感染拡大等)**
- 4 人口減少・少子高齢社会の急激な進行
- 5 様々な産業分野におけるイノベーションの加速化
※**society5.0(DXの取組等)、脱炭素を含む**
- 6 **就業・労働環境の変化**
- 7 商業環境の変化
- 8 **国際経済の状況**
- 9 観光・交流を取り巻く環境の変化

第3章 本県産業の目指す将来像

<現行>

- 【基本目標】
震災からの復興と新たな時代を担う産業の創出
- 【基本姿勢】
「連携」と「挑戦」による新たな価値の創造
- 《めざす産業の将来像と実現に向けた施策の基本的方向》
- 将来像1 東日本大震災及び原子力災害からの復興を果たしている「ふくしま」
- 将来像2 将来を支える成長産業が創出されている「ふくしま」
- 将来像3 地域資源を生かした産業の振興が図られている「ふくしま」
- 将来像4 多様な交流が促進されている活力に満ちた「ふくしま」
- 将来像5 産業を支える「人と地域」が輝いている「ふくしま」

<次期計画>

- 【基本目標】
「○○○○○ ○○○○ ○○○○」(今後検討)
- 【基本姿勢】
「誇り」「連携・共創」「挑戦」の価値観による基本目標の実現
- 《めざす産業の将来像と実現に向けた施策の基本的方向》
- 将来像1 東日本大震災及び原子力災害からの復興・創生関連
- 将来像2 中小企業・小規模企業の振興関連
- 将来像3 成長産業・技術革新関連
- 将来像4 人材の育成・確保関連
- 将来像5 観光・空港・県産品関連

第4章 重点施策の展開

【議題(1)】(資料1)にて整理

第5章 地域別構想

<現行>

県北
県中
県南
会津
南会津
相双
いわき

<次期計画>

県北
県中
県南
会津
南会津
相双
いわき

第6章 計画推進のために

<現行>

- 1 計画推進の考え方
- 2 進行管理
- 3 重点プロジェクトの展開

<次期計画>

- 1 計画推進の考え方
- 2 進行管理
- 3 重点プロジェクトの展開
- 4 [SDGs関連表](#)